

豊陵會報

Vol. **105**

2022年6月
(令和4年)



高19期 花谷ふみさんの作品

今年の総会「9月18日アイボリー」で準備

第23代中原光子校長が就任

「百周年事業の清算収支報告」5ページに

コロナ情勢を見つつ準備 2年連続中止で 「優待期」へも対応

コロナ禍で2年連続の中止を余儀なくされた豊陵会総会は、コロナの情勢が見極めづらいため、9月18日(日)にホテルアイボリーで開催を前提に対応が進められている。

開催の大綱は従来通りとして、8月末まで事務局で出席申し込みを受け付ける。

【詳細案内は24ページ、FAXでの申込には同封用紙をご使用ください】

4月23日の幹事・評議員会の決算・予算説明で大川財務幹事は「今年の総会開催がどうかは流動的だが開催にともなう収入支出見込み額は計上する」としたうえで承認を求めた。

「懇親会の形式が可能か」開催を決める第一のポイントは、ホテルであれば「宴会」は可能で飲み物もOKだが、「テーブルパーティション設置」「ビュッフェ方式はダメで各人の弁当方

式」と言う縛りが継続実施中。この通りなら広い会場でも出席できる人数が制限され、それではせっかくの「懇親会」もあまり意味がない。

そもそも従来通りの開催として、例年なみの出席者数が見込めるかどうか。コロナ禍で出席に慎重になる会員も多いはず。...

「優待期」をどうするか 開催中止なら、2020年から未開催のままの、ホームカミング25とアゲイン(卒業50年)の計6期が「優待未消化」になる。その場合は、対象期の代表による具体的な検討会を開き、全体の総会が中止でも「優待期」のみでの「ミニ総会」開催案が浮上している。

「会長選考委員会」を設置 次期会長決定まで現執行部を存続

高坂議長が議事にある「令和4年役員体制について」を議場に諮った。心当たりの方々に次期会長への就任を依頼したものの確答を得られず、昨年末の会長の任期満了後、次期会長空白の状態が続いているので今後、どのように進めればよいか、出席者の意見を求めた。これに対して、高麗啓一郎評議員(高51)から「選考委員会を設け、そこで問題を整理・推薦してはどうか」との提案があり、賛成意見が相次ぎ、全会一致で承認された。

委員の選考・運営については会長に任せられ、会長は「今年度内には決着し報告を行なう、それまでは現執行部を継続させる」と述べ了承された。

三木・募金担当副会長が退任

3月末で「100周年記念事業実行委員会」の任務終了にともない、記念募金特命担当の三木俊博副会長(高20)が退任した。同副会長が特に注力した「教育基金」は目標を果たし立派な足跡を残した。

■新しい幹事・評議員 4月23日の幹事・評議員会で次の方々が新規に任命承認された。

- ▼幹事Ⅱ 平野裕一(高32・前校長)
- ▼評議員Ⅱ 片岡真二・高岡浩子・猪谷幸代(以上高13)、小林柚香里(高34)、日高健介(高73)。

コロナ下で情報交換の幹事会

コロナ禍で休止状態の豊陵会活動の中で情報交換を兼ねた幹事会が昨年11月27日11時から開催された。土曜日・昼間の開催は初めて。

会議では100周年記念事業収支の現在報告のあと「教育基金」設立準備会合が始まったとの報告があった。ついで事務局から本年度の決算見直し、会の資産残高の推移、協力金収入の見直しについて報告があった。各部会からの現況報告などの後、予定時刻の13時に閉会した。

3,150万円でスタート

「教育基金」は教育後援会の特別会計で運営

100周年記念事業の一般記念事業(税務上の特典を受けられない学校独自の事業)として計画された「教育基金」は、決算見通しの結果3,150万円が充当され、教育後援会の「教育基金特別会計」で運営されることになった。幹事・評議員会で、基金運営の検討メンバーだった河村利行・副会長が報告した。

この金額の運営方式・担当組織については、100周年事業実行委員会の構成メンバーで種々検討された。学校自体に金銭運用の組織を置くことができない事、独立の組織運営をつくるには規模的に十分である事、既存の「森川基金」とのダブリを避けるべき事などの観点から、すでに実績を積んでいる教育後援会の「教育後援会規約」に「教育基金特別会計細則」を設け、その中で運営することに決まった。細則の決定は5月のPTA総会の承認を受けて正式にスタートする。高坂会長は「教育基金はこれが始まりで、今後も継続するものだから引き続きの支援をお願いしたい」と補足した。

決算・予算などを承認

が、新体制の発足に時間を要し

ており、本日の討議の中で検討をお願いしたいとあいさつした。

母校の近況報告を兼ねた挨拶で、中原新校長は「前任校に引き続きコロナ下での学校運営が続くが豊高ではそれに対応してきており、7月に予定される修学旅行はじめ各行事をきちんと行ない、生徒にとって充実した高校生活

であったと思えるように努力したい」と述べられた。

このあと規約により高坂会長が議長となり議事が進められ、「令和3年活動報告・決算報告」「記念事業特別会計」「同4年活動計画・予算」について大川財務幹事が説明、いずれも可決承認された。

「決算・予算表は23ページに1,267万円を支出 決算によると記念事業特別会計として積み立ててきた勘定科目から百周年記念事業に約1,267万円を支出、残高は436万円になった。一方、豊陵会協力金の収入は414万円にとどまり、100周年の募金活動・コロナの影響等があったとはいえ近年の最低額となり、早期の収入回復が望まれる。

7月18日(日)にホテルアイボリーで令和4年第一回幹事・評議員会が開催された。4月に就任された中原校長・土佐事務部長と藤縄教頭も出席し、河村副会長の進行で会が進められた。まず高坂会長がコロナ下での会合出席に謝辞を述べ、100周年事業が無事終わったことほっとしている

第23代校長に中原光子・春日丘校長が着任

父娘で豊高の校長に

4月1日付で府教育長庁の人事異動が発令され、百周年事業を終えて定年退職の平野校長の後任に中原光子・春日丘校長が就任された。中原校長は奇しくも第12代中原晃雄校長の娘さん。父娘で校長を務める人事となった。

平野前校長は大阪工業大の特任教授に転出されたほか、英語科・安福首席が大阪教育大附属池田高に転出など12人の先生が豊高を去られ、11人の先生が新たに赴任された。

【人事異動の詳細は8面に】

高77期生 360人が「校内」で入学式



昨年とは曾根の文化芸術センターで行なわれたが、今年は4月5日（火）午前10時から2年ぶりに学校内で行な

われた。国歌は卒業式と同様に清聴だけ。
着任早々の中原校長は新生に、「学ぶ姿勢を持ち続け、そして広い心と柔軟な考え方で、77期生が自分と周りの幸せのために行動できる集団となってほしい」と述べられた。
例年曲の紹介と練習がある校歌も清聴だけに止められた。

高74期346人が卒業



平野校長も3月31日で「卒業」された。
昨年とは曾根の文化芸術センターで行なわれたが、今年は4月5日（火）午前10時から2年ぶりに学校内で行な

高74期の卒業証書授与式が体育館で3月1日（火）、午前10時から行なわれた。今年もウイルス感染症防止のため先生方と卒業生のほかは保護者一人の出席で実施された。国歌と校歌は昨年同様清聴するだけだった。卒業生の氏名を各クラス担任教諭から読みあげられ、文・理各々の代表が卒業証書を受けとった。卒業生に平野校長は、①謙虚な姿勢で学びを続ければ更なる学びにつながる。②遊び心を持つ。③見えないものを大切に、心でみるように。④過ちが分かればすぐに直す。⑤専門外の学問・分野にも幅広く目を向けてほしい、の5つを人生の指針としておくれた。

創立100周年を祝して 第20回豊陵会親睦ゴルフコンペ 開く

昨年10月7日（木）、母校創立100周年を祝して第20回豊陵会ゴルフコンペが「箕面ゴルフ倶楽部」で開催されました。第19回はコロナ禍の情勢で残念ながら中止、第20回は二年ぶりの開催となりました。高7期から高66期まで紅一点を含む24名が参加、秋の青空のもとコロナ禍もひと時忘れ、楽しいゴルフを満喫、スコアー50を切る方も多く見られました。

【成績】▼シニアの部（高1～16期）優勝＝平井昭さん（高11）、2位とベストグロス賞（84）＝木村榮次さん（高15）

▼一般の部（高17期以後）優勝＝岡嶋豊さん（高19）、2位とベストグロス賞（83）＝延原耕三さん（高25）。



表彰式では恒例の順位賞に加えて、高坂敬三会長（高16）寄贈のゴルフボール、西尾宏さん（高16）寄贈のイタリア製革製品が特別賞として該当者に贈られました。

さらに当日のサプライズ「100周年記念特別賞」として、箕面ゴルフ倶楽部より寄贈頂いたゴルフキャディバッグ（ホンマ製）が、「スコアー100」を出された本井文夫さん（高15）に倶楽部代表理事の遠山隆重さん（高17）より贈呈されました。

今年は10月6日（木） 箕面ゴルフ倶楽部

で開催

第21回豊陵会親睦 ゴルフコンペ

奮ってご参加ください

会場、競技方法、参加申し込み方法などの詳細は、

豊陵会ホームページ

(<https://www.houryou.org>)

豊陵会公式フェイスブック

([https://facebook.com/groups/](https://facebook.com/groups/1686870608250342/)

1686870608250342/)

に6月下旬、案内の予定です。

「100周年実行委員会」大役果たして終了

募金総合計は1億1、491万円

「母校創立100周年事業実行委員会」の最終会議が3月7日夕、23人の委員が出席、森川ホールで開催された。コロナ禍の折から会議時間も1時間に限定され、伊藤事務局長の進行で議事が進められた。

「全般の活動報告」で記念募金の結果と終了した記念事業の内容が報告されたあと、大田会計(豊友会選出)が全体収支のまとめを報告。「教育基金」として計上した3、150万円はこの会議で了承を受けたのち、直ちに豊中高校教育基金・特別会計口座に振込むが、他に未支出の項目もあるので、最終結果は後日豊陵会報などを通じて公表すると述べ了承された。

コロナに負けず、豊高らしくやった

「百周年事業」を終えて高坂実行委員長に聞く

100年目を迎えるめでたい創立百周年の記念事業は思いもかけないコロナ禍にぶつかり、苦心の実行となった。それでも、記念募金をはじめ当初の計画を無事達成した。実行委員会を代表して高坂委員長に「無時終」の感想を聞いた。(編集部G)

「3年前の評議委員会の席上で『コロナと比べての競争ではない。豊高らしくやる』と呼びかけました。結果をどう評価しますか。」

高坂委員長 思いもかけない新型コロナ禍という災害もどでしたが、とにかく大きなミスもなく、予定していた行事を滞りなく終え、委員長としての務めを果たす事が出来て正直ホッとしています。

「何ごも評価というものは本来他人がするものですから、自分の口から申し上げるのは憚られますが、もともと他校に負けない立派なものというような意気込みで取り組んだ訳ではありません。豊高らしさをという事を念頭に置いていたので、その意味ではある程度全う出来たかなと思っています。」

「そもそも100周年の会長はハードです」

ついで継続検討だった「豊中高校教育基金・特別会計の制定」について藤縄教頭が説明。募金額から受け入れる3、150万円を既存の「教育後援会」を軸にして「豊中高校教育基金・特別会計」を設置し、さらに「特別会計細則」を設けて後援会会長(P.T.A会長)1名・副会長(豊友会会長など2名)・豊陵会代表4名で構成する委員会の運営に委ねることになった。

「教育基金の募金を継続して行なわないのかとの質問に対して、平野校長は「3、150万円の基金をいただいたので、当面の運営には不足しないと考えている」と答えた。

よね。

高坂 豊陵会の会長は普段であればそれ程多忙というものではないでしょうが、周年行事となるとそれなりに行事が増え時間がとられず。会長就任の依頼があったとき、現役で仕事をしている関係で何度か固辞したのですが、誰も引き受け手がいないからと多くの人から背中を押され、結局誰かがやらなければならぬのならとお引受けしたのですが、想像していた以上にハードでした。

「一番の苦労は？」

高坂 一番の問題は寄付集めでしたね。周年事業に寄付集めはつきもので、かねてより慶応や甲南といった大学OBの友人から寄付集めの苦労話は聞かされていきましたので、これが一番の難問でした。

基本は豊陵会会員から集めるのが筋ですが、豊陵会では各期に世話役を選んでいただいて、その方を中心に協力依頼をしていただくという方針を採りました。しかし皆さんそれぞれ仕事や家庭を持っておられて、なかなか豊高の募金活動には力を入れてくれないのが実情です。それに加えてコロナ禍で同窓会といった会

合が持てなかったのが残念でした。

それでも、仲間意識の強い期ではかなりの成果を挙げいただきました。特筆すべきは平野校長の32期と私の16期でしょうか。私の期では多くの同期生が寄付してくれましたが、なかでも喜八洲の中田八朗さんと箕面自動車教習所の梶山四郎さん、正岡医院の正岡哲さんらは表に出る活動は勘弁してくれといながらも、君の頼みならと快く寄付してくれました。高校時代のヤンチャ仲間はいつまでたっても有難い友達ですね。

「企業からの寄付も相当ありました。どんな工夫をされましたか。」

高坂 はっきり言って企業にとって寄付の要請は迷惑な話です。大学のOB・OGと違って、高校のOB・OG会では社員採用に繋がりませんが、理由がないのです。社員名簿に卒業高校の名前すらない企業が大半です。結局個人的なルートで、個別にお願いをしました。丁寧に断られたところも2、3ありますが、有難い事にかんがりの企業に顔を立てていただきました。

「苦心の募金が生きた？」

高坂 そうです。集まった寄付の使い途は学校側にお任せしましたので平野校長のお話に譲りたいと思います。ただメインは食堂ホールの改装にありましたので、私の友人の建築士久

武正明氏の助言をいただきながら立派なホールに仕上がったと思います。

「それからヒマラヤ杉の植樹も。」

高坂 そうです。我々の世代は運動場北側旧校舍正面に立つ2本のヒマラヤ杉がシンボルでも出てくる「杉よ銀雲肩をあげむ」というそのヒマラヤ杉です。大正12年に植えられて以来、豊高と共に歩んできた古樹ものでした。校舎の改装に合わせて校門脇に移植され、1本は途中で枯れて二代目が後を継いでいますが、残りの1本が平成30年の台風21号で大往生を遂げたのです。寿命というほかありませんが、服部天神の加藤芳故宮司にお願いしてお清めしていただき、その切り株は西校舎1階に今も残っています。それで枯れた古木の二代目を植樹しました。ヒマラヤ杉には皆さん思い入れが深く、ヒマラヤ杉募金として会合のつど皆さんも快く寄付されていました。

「ピアノコンサートも思い出に残りますね。」

高坂 記念式典のプレ行事として高17期加古隆さんのピアノコンサートがありました。同期の廣瀬純さんがぜひやろうではないかと提案されて決まったのですが、新型コロナの影響で何度か延期が続き、会場の手配・加古さんのスケジュールの調整・チケットの払戻などヤキモキさせられました。最終的に令和3年3月12日無事開催できました。OB・OG以外の方も沢山お見えになり、加古さんの素晴らしい演奏と会場の母校愛に満ちたスピーチに本当に感動しました。

「最大行事の記念式典は、残念ながら学校の体育館と教室を結んだりリモート開催となりました。」

高坂 記念式典はまさに学校主宰の行事として平野校長はじめ先生方が随分知恵を絞られたのだと思います。残念ながら市民会館での賑々しい行事は出来ませんでした。アフガニスタンで殉職された中村哲氏の後を継いでペシャワール会を務めておられる20期の村上優さんのお話と須賀副会長のアレンジによる3人のアーティスト(ピアノ・43期大澤美穂さ

ん、チエロ・54期辻本玲さん、フルート・67期尾崎勇太さん)の録画出演は生徒達にも感銘を与えるものになったと思います。翌日の読売新聞朝刊の北摂版に記事が載ったのも嬉しかったですね。

「100周年記念誌の発行も大きな事業の一つでした。」

高坂 実は委員会内部でも、今の世の中、紙媒体で大部の物を作るのは時代錯誤と言われかねないという議論がありました。しかしDVDは簡便な反面、そのつど立上げなければならぬし、くり返し見るといって機会が多くなってしまうが、記念誌ですと本棚に飾られているだけでそれなりの存在感を示すものです。私はアナログ人間ですが、手に取ってみる機会もその方が多いのではないかと思います。私にはどうですか。

これは豊陵会とともに学校側でも相当の作業をしていただいたので、先生方には大変なご苦労をおかけしたと思います。記録の収集を始め、記事の取捨選択など、それはそれで大変な作業だったと思います。私は発行責任者でありましたので、一応全文を読み通してチェックしましたが、今まで知らなかった豊高の歴史を垣間見ることが出来、こんな事があったのかと驚く事が少なからずありましたね。

「終わってみれば、いろんな人の支援があった訳です。」

高坂 私は本来、人の先頭に立つて引張っていくタイプではなく、上に立つ人がいて参謀としてアイデアを出す立場にいるのが適任だと思っています。そのため在任中はいつも居心地良くとはいかず、周りの人には大変助けられました。

最後に平野校長との出会いを忘れるわけにはいきません。私は今回のパートナーが平野校長であつたればこそ、この100周年が無事に成し遂げられたと思っております。卒業式のスピーチを聞くといつも彼の情熱と学識を感じさせられるものでした。いい人とペアを組めたまさに天の配剤に感謝しています。

◆豊中高校に赴任された最初の印象は？

4月1日に初めて豊中高校の正門を通ると、校舎入口までの開けた景色が明るく伸びやかな印象に感じました。また、2階の校長室のカーテンを開けるとグラウンドがすぐに見えるのが今までの学校にはないホッとさせる素敵な景色でした。

り、国・大阪府のミッションには応えなければならぬと思っています。

そして、私が校長としてこれまで大切にしてきたことは、「人とのつながり」です。

人とのつながりが経験を生み、色んな考えを学び、自分を成長させてくれます。人とのつながりの中で自分がどのような

たいと思っています。

◆100周年を終え、第2世紀の豊高の役割

「文武両道」「協働進取」の精神は、どんな時代でも揺るがぬ、確かなものとして100年を超えてこの豊中高等学校で受け継がれてきました。そして、100周年を終

えて、第2世紀に入った今、

私たちの社会には、「協働進

取」の精神が

まさに求められていて感

じます。豊高生がそれぞれ

の場所での精神を發揮して、予測不能

な混沌としたこれからの社会をリードしてくれることを願っています。

まち豊中と連携した循環型プロジェクト、②科学する心の育成プロジェクト、③未来発信型人材育成プロジェクトで

す。豊中市にあるGLHSの府立高校として、地域と連携

し、地域にいかに関与できるかは、本校の使命のひとつで

す。これからも「持続可能」であることを意識し、取り組みを進めていきます。

◆親子二代で豊高校長になられたとのこと

父が豊中高等学校の校長として勤務していた当時のことは、通勤時間がかかるので大変だということくらいしか記憶にありませんが、定年後、

年を重ねてから、昔話をする折に、「豊高は生徒たちが明る

くのびのびと活動する素晴らしい学校だった。」というようなことをよく言っていました。

私自身が3月に内示を受けた時には、特別に父のことを思うことはありませんでしたが、

弟に伝えた時に、「生きていたら、ものすごく喜んで、学校

がどんな風かと聞いてきて、うるさかっただろうな。」と言

い、「学校まで訪ねて来たかも

しれないね。」と話しました。2年前に亡くなりましたが、喜んでいいます。

◆未だ収まらないコロナ禍ですが、校長としてどのようにお考えですか？

今の3年生が入学した時に学校が休校になるという前代未聞の学年でした。クラブの大会が無くなったり、文化祭

も試行錯誤しながらの開催であったり、2年間ほんとうに制約を受けた中で学校生活

となっていました。

高校生なので明るく皆は順応しているのですが、今までのようにいかなかった事で

やっぱり何かを抱えていると思います。まだまだ収束した

と言える状況ではありませんが、少しでも充実した高校生活を

送らせてあげたいです。

生徒達には受け身にならず、自ら考え行動し、失敗を恐れ

ずチャレンジ出来るように先生方のサポート体制や、学校の雰囲気

をより良くしていきたいと思っています。

◆新しい抱負をお聞かせください

文部科学省よりSSHの指定を受け先進的な教育に取り組んでいることは承知してお

り、国・大阪府のミッションには応えなければならぬと思っています。

そして、私が校長としてこれまで大切にしてきたことは、「人とのつながり」です。

受け身にならないで コロナ下でも充実の 高校生活になるように努力



身前任の春日丘高校の前まで淀

川より南の学校ばかりに勤務していましたが、豊中高校での

新しい出会いを楽しみにしています。

◆新しい抱負をお聞かせください

文部科学省よりSSHの指定を受け先進的な教育に取り組んでいることは承知してお

り、国・大阪府のミッションには応えなければならぬと思っています。

◆SSH事業、本校の使命

今年第3期中間報告の年となります。第3期の研究

課題「未来地域還元型 科学する人づくりプロジェクトの

開発」の3本柱は、①科学の

この春、わたくしは豊中高校での4度目の卒業をいたしました。

4度と申しますのは、18歳のときの高校生としての卒業、34歳のときの教諭としての卒業49歳のときの保護者としての卒業、そして60歳のときの校長としての今般の卒業のことを指します。

本稿では、通

算22年間（高校生3年＋教諭11年＋保護者3年

＋校長6年）の豊高生活で私が「学んだこと」を振り返ってみたいと思います。

豊高生として学んだことは、

「一生の友人」「一生の恩師」「学ぶことの苦しさと楽しさ」の3点です。32期の友人たちとはコロナ禍においても数十回にわたるオンライン同窓会（呑み会）を行い、旧交を温めております。とりわけ、校長に就任して以降の彼らの支えは、わたしの仕事の原動力の一つとなりました。在校中

は多くの先生との出会いもありましたが、個性豊かな先生方と出逢い、大人っぽくもしろいと思っただけでした。未だに恩師の方々とは杯を交わす機会がありますが、何歳になっても恩師と教え子の関係は変わりません。そして、高校時代に物理という教科に出会ったことはわたしの人生の

のある生徒がいます。どの生徒に対しても教員が生徒を信じていることが教育の基盤だということを学びました。この伝統は今の豊高の先生方にも伝承されていると思います。また、生徒が要求するレベルの授業をするために研鑽を怠らないことです。当時のある先生が仰っていた「教室は舞台、

教員は名優でないといけない」という言葉が今でも記憶に残っています。最もわたしの物理の授業が生徒のニーズに合っていたかどうかは知る由がありませんが……また、豊高で同僚として働いた先生方からは、校長就任当初に宴を開いていただくなど、未だに気にかけていただいております。

になり、とても微妙な立場でした。に、文化祭を見させていただいた程度で何もできませんでした。卒業式の日も別の高校の卒業式に教委代表として参列していただくくらいでした。豊高でお世話になった娘も豊高で知り合った同級生と結婚し独立しました。校長としてのこの6年間は、ひいては母校発展のため、微力ながら務めさせていただきました。あらためて、ご支援・ご理解を賜った豊陵会の皆様方に心よりお礼を申しあげます。歴史にIFはありませんが、校長赴任直前に、府教委の某幹部から、「平野さん。豊高と〇〇高校の校長が空くけど、どうする？」と聞かれ、迷うことなく「豊中高校で……」と答えたように記憶しています。その後、幸いにも正式に内示があり、我ながらこんな人生もあるのだなあと思いがら、校門をくぐりました。

4度目の豊中高校の卒業を振り返って 同窓会会員としても 母校見守る

第22代校長・高32 平野 裕一



保護者としては、仕事を理由（当時は大阪府の教育委員会に勤めており、府教委は豊高の管理機関という位置づけ

に、豊高で知り合った同級生と結婚し独立しました。校長としてのこの6年間は、ひいては母校発展のため、微力ながら務めさせていただきました。あらためて、ご支援・ご理解を賜った豊陵会の皆様方に心よりお礼を申しあげます。歴史にIFはありませんが、校長赴任直前に、府教委の某幹部から、「平野さん。豊高と〇〇高校の校長が空くけど、どうする？」と聞かれ、迷うことなく「豊中高校で……」と答えたように記憶しています。その後、幸いにも正式に内示があり、我ながらこんな人生もあるのだなあと思いがら、校門をくぐりました。

に、豊高で知り合った同級生と結婚し独立しました。校長としてのこの6年間は、ひいては母校発展のため、微力ながら務めさせていただきました。あらためて、ご支援・ご理解を賜った豊陵会の皆様方に心よりお礼を申しあげます。歴史にIFはありませんが、校長赴任直前に、府教委の某幹部から、「平野さん。豊高と〇〇高校の校長が空くけど、どうする？」と聞かれ、迷うことなく「豊中高校で……」と答えたように記憶しています。その後、幸いにも正式に内示があり、我ながらこんな人生もあるのだなあと思いがら、校門をくぐりました。

方向を変えるきっかけになりましたし、苦手だった英語に ついては、大学での英語の授業が豊高英語で苦労したおかげかずいぶん楽に感じたものでした。

教諭として学んだことは、「生徒を信じること」「最高の授業をすること」です。豊中高校には、多様な個性や事情

に、豊高で知り合った同級生と結婚し独立しました。校長としてのこの6年間は、ひいては母校発展のため、微力ながら務めさせていただきました。あらためて、ご支援・ご理解を賜った豊陵会の皆様方に心よりお礼を申しあげます。歴史にIFはありませんが、校長赴任直前に、府教委の某幹部から、「平野さん。豊高と〇〇高校の校長が空くけど、どうする？」と聞かれ、迷うことなく「豊中高校で……」と答えたように記憶しています。その後、幸いにも正式に内示があり、我ながらこんな人生もあるのだなあと思いがら、校門をくぐりました。

に、豊高で知り合った同級生と結婚し独立しました。校長としてのこの6年間は、ひいては母校発展のため、微力ながら務めさせていただきました。あらためて、ご支援・ご理解を賜った豊陵会の皆様方に心よりお礼を申しあげます。歴史にIFはありませんが、校長赴任直前に、府教委の某幹部から、「平野さん。豊高と〇〇高校の校長が空くけど、どうする？」と聞かれ、迷うことなく「豊中高校で……」と答えたように記憶しています。その後、幸いにも正式に内示があり、我ながらこんな人生もあるのだなあと思いがら、校門をくぐりました。



共通テストの難化でも、 国公立合格者が増加

続くコロナ禍での 大学入試

令和4年度の大学入試が終わり、進学者数の集計結果を別表に示しました(合格者数ではありません)。合格者数とともに、本校HPにも記載しています。

今年度の結果は、国公立大合格者数が昨年度と比べて9名増加しました。しかし京都大学が減少しました。主に浪人生の受験者数の減少が影響しています。しかし、大阪大学の合格者数は5名増加し、39名となりました。またこの4月に開学した、大阪市立大学と大阪府立大学が統合した「大阪公立大学」の受験希望者が増加し、合格者数も42名と昨年度2大学合計より伸びました。

「センター試験」から変更になった「共通テスト」も2回目となりましたが、今年度は全国的に5教科平均点が大幅ダウンしました。理系が特に難化し、本校生にとっても影響は大きく浪人生を中心に出願校を変えざる動きが見えました。このような状況下でも志望を下げず受験した現役生が多かったことが、大阪大学の合格者を伸ばした要因だと考えています。国公立大推薦入試の出願数も昨年より10名増加し、本校生は入試形態に柔軟に対応している様子も伺えました。また、私立大学は情報

学部や建築学部の人気から、理系を中心に関西大学・関西学院大学・近畿大学の合格者が増加したことが特徴かと思えます。

在校生である3年生(75期生)は4月進路希望調査の結果、大阪大学への進学希望者が過去9年間比較で(残っている記録の中では)最高となっており、全体の43%が進学を希望しています。また全体の93%が国公立大学への進学を希望しており、高い進路意識を持っていることが分かります。このまま第一志望を貫いて欲しいと思います。

1年生(77期生)から新課程となり、共通テスト入試科目に「情報」や「公共」などが追加されます。まだ大入試も入試科目を公表しておらず不透明な部分がありますが今後情報収集に励み、教職員の情報共有と生徒への的確なアドバイスの実施に努めてまいります。

最後に、令和4年度も9月に1年生対象の進路講演会を企画しております。例年豊高OBの方々をお招きして実施している職業別進路講演会ですが、今年度は少し形式を変えて実施する予定で現在立案中です。1年生の職業観、文理選択を考えていくうえで大変参考になる意義深い行事となります。豊陵会およびOBの方々いろいろなとお願ひにあがることもあるかもしれません。そのときはお力添えどうぞよろしくお願ひいたします。

(進路指導室)

令和4年度 先生方の人事異動

- 4月1日付の府教育庁による先生方の人事異動は次のとおりです。
 - 豊高を去られた先生 ▼退職=平野裕一(校長)、松本恵美子(事務部長)、藤木登志記(国語)、石田省三(地歴公民)、京 影彦(数学)、坂東みち代(養護教諭) ▼他校へ転任 安福一貴(英語→大阪教育大附属池田高)、松井健大(数学→北摂つばさ高)、南川郁夫(生物→刀根山高)、渡辺尚樹(地歴公民→豊島高)、下向真治(保健体育→渋谷高)、江口英子(保健体育→日新高)。
 - 豊高に新任の先生 中原光子(校長→春日丘高校長)、土佐泰豊(事務部長→府立消防学校)、梅田彩乃(国語→新任教諭)、岡田大樹(地歴公民→千里青雲高)、明政真司(数学→新任教諭)、河上圭太(数学→門真西高)、数上翔太(化学→三島高)、水野翔二郎(生物→渋谷高)、山口絵里子(英語→大阪教育大附属池田高)、杉野周子(英語→刀根山高)、服部めぐみ(養護教諭→山田高)。
 - 職名変更の先生 志方洋介(社会→首席)。
- 【3面に関連記事。再任用で引き続き勤務の先生・非常勤講師の方の掲載は省略しました。】

2022年 大学受験の結果速報

【進路指導室。()の数字は現役合格者数】

4月22日現在、進路指導部が把握した値を掲載しています。受験生徒からの報告の集計であり、今後到着する結果報告で数値が変わる可能性があります。確定数値は豊高HPや、3年生生徒への「進路指導資料」(6月配付)で発表されます。

【国立大学】 北海道2(1)、東北2(1)、富山2(1)、つくば3(2)、東京外国語1(1)、東京芸術1、横浜国立1、千葉1(1)、信州1(1)、静岡3(1)、名古屋1、岐阜1(1)、滋賀3(2)、滋賀医科2(1)、京都3(3)、京都工芸繊維6(4)、奈良女子1(1)、大阪39(28)、大阪教育8(8)、神戸34(24)、和歌山3(2)、鳥根1(1)、岡山1、広島2(2)、香川2(1)、愛媛1、徳島1、九州1。

【公立大学】 東京都立1、滋賀県立3(2)、京都府立2(2)、京都府立医科1(1)、大阪公立37(26)、兵庫県立6(3)、神戸市外国語1(1)、和歌山県立医科1(1)、長崎県立1(1)。

【私立大学】 慶應義塾1、早稲田2(2)、明治1(1)、日本1、東京理科2(1)、東京農業2(2)、中央1(1)、同志社27(17)、立命館25(23)、京都女子1(1)、京都芸術1(1)、京都橘2(2)、大和1(1)、大阪産業1(1)、大阪工業2(2)、大阪医科薬科4(3)、追手門学院2(2)、近畿14(12)、関西学院40(38)、関西外国語2(2)、関西医科1(1)、関西32(25)、兵庫医科3(2)、武庫川女子1、神戸薬科1(1)、神戸常盤1(1)。

【大学校】 防衛医科大学校1。 【専門学校】 大阪医療技術学園専門学校1。

【海外の大学】 INTI International University1(1)

コロナ禍での高校生活を振り返って

私達が入学した2019年春、まだ世界に「新型コロナウイルス」なんて言葉はありませんでした。合格者説明会の会場である体育館までの道は部活動勧誘の先輩方で溢れていて、いわゆる「密状態」であったことを覚えています。当時はその盛り上がりこそが、高校生になったことを自覚させてくれる良い風物詩だったのです。

2020年初め、1年次も終わるといふ頃にコロナウイルスが出始めたという話題が挙がり、コロナ禍での高校生活が始まりました。2カ月に及ぶ休校期間後の6月、私達は初めて2年次のクラスメイト全員で顔を合わせました。

これからの高校生活は楽しめるのだろうかとか誰もが不安に思っていました。結果として私たちの学年は、先生方のご尽力のおかげで、ほぼ全ての行事を行うことができたのですが、そこには様々な苦労や葛藤があったのです。

コロナ禍の行事には数多の制限が付随してきます。例年通り行うこと、中止にすることに比べ圧倒的に難しい制限付きでの実施は、運営側、生徒側にとって大きな負担でした。しかし、行事が実施できることと自分がやりたいという認識を全員が持っていたため、制限の中でできる最大限の創作活動に皆で取り組み、楽しい行事を創り上げられたのだと私は考えます。

実際に文化祭実行委員長として各クラスの企画書に目を通して見ると、VRを用いたり、テレビゲームを体験型にしたりと、感染予防と楽しさを両立できるように工夫を凝らしたものが多く、豊高生の創造性に驚かされました。

このようにして豊高生はコロナ禍でも様々な挑戦をし、多方面で実績を残しています。これはひとえに生徒一人一人が「今できること」を考え、行動に移す力があるからだと思えます。この豊高生の強みが次世代以降にも受け継がれ、大阪府立豊中高等学校が今後更なる発展を遂げることを、一卒業生として願っています。

(高74高田 弥。令和2年後期自治会会長で「100周年記念誌」に祝辞を寄稿)

豊高文化部

吹奏楽部

- ▼第60回府吹奏楽コンクール北摂地区大会（7月）で金賞、代表に。
- ▼第60回府吹奏楽コンクール府大会で銀賞。
- ▼第12回管打楽器アンサンブルコンテスト（12月）、クラリネット五重奏で金賞。同動画審査フルート三重奏で銀賞。同動画審査ダブルリード四重奏で銀賞。同サクソ五重奏で金賞。
- ▼堺市管打楽器アンサンブルコンテスト（1月）、クラリネット七重奏で金賞。同アンサンブルコンテスト、サクソ六重奏で銀賞。

美術工芸部

- ▼第72回府高校展（8月）。奨励賞 荒木さくら・島田夏帆（以上2年）、吉川千尋（1年）。
- ▼第42回府高校美術文化連盟美術・工芸部門展（1月）。入選 荒木さくら（2年）、信長綾乃・吉川千尋（以上1年）。
- ▼第44回第1学区第1ブロック展（2月）。準グランプリ 吉川千尋（1年）、荒木さくら（2年）。

豊高スポーツ

男子バレーボール

- ▼府新人大会1次予選（11月）
豊中2-1寝屋川 豊中2-0早稲田摂陵・1部に昇格

女子バレーボール

- ▼近畿大会府予選（6月）
豊中2-1市岡 鳳2-1豊中
- ▼高校総体府予選（7月）
咲くやこの花2-1豊中
- ▼府新人大会1次予選（11月）
豊中2-1教育センター附属 豊中2-1上宮
・2部リーグ優勝で1部リーグに昇格
- ▼同2次予選（3月）
大阪学院大高2-1豊中
- ▼春季大会1次予選
大阪学芸2-0豊中 豊中2-0門真なみはや
・1部リーグ3位で1部リーグに残留。

剣道部

- ▼正思剣道大会（8月） 優秀選手賞
- ▼府総体個人戦（1月） 第3位
- ▼正思剣道大会（3月） 第3位、優秀選手賞

男子バスケットボール

- ▼第76回府総体1次予選（4月）
常翔啓光学園66-59豊中
- ▼第74回府高校選手権1次予選（9月）
汎愛74-64豊中
- ▼第43回北地区公立高大大会Dブロック予選（10～11月）
豊中92-47吹田 豊中77-40東淀川 豊中48-46北野
豊中83-35淀川清流 北千里63-45豊中
- ▼第69回府新人大会北地区予選
豊中65-48北千里 箕面自由学園75-52豊中

男子ソフトテニス

- ▼府公立高中央大会（7月）、同研修大会ソフトテニス団体の部本戦（3月）に出場

女子ソフトテニス

- ▼新人大会個人戦ベスト12で中央大会に出場（9月）

水泳

- ▼近畿高校選手権（7月）、同新人大会（10月）に出場

「職業別進路講演会」

16人の講師で開催

恒例となった進路指導室が行なう「職業別進路講演会」が9月16日午後行なわれた。

生徒は前半・後半に分かれた時間

帯に希望するテーマの教室に出席してそれぞれの分野の仕事について熱心に聞き入った。

令和3年度の16講師（敬称略） 鶴丸達也（高34＝建築・西日本住宅評価センター）、西川倫史（高40＝会社経営・日本鋳螺）、安威利重（高41＝エンジニア・三菱日立パワーシステムズ）、守本正宏（高37＝AI関連・起業。FRONTEO）、宮尾輔（外部講師＝一般企業・大和大学渉外部長）、新見行人（高41＝医師・にいみ医院）、樋口高広（高41＝医師・樋口歯科）、蓮池光人（外部講師＝看護師・森ノ宮医療大学看護学科）、幸尾菜摘子（高56＝弁護士・中本総合法律事務所）、佐々木章（高46＝弁護士・C&L法律事務所）、酒匂健文（高42＝公認会計士・税理士。COMPASS）、長谷川万里子（高53＝公務員・豊中市役所）、小林知博（高42＝大学教授・神戸女学院大）、前川亮太（高56＝小中学校教員・池田市教育委員会）、信國誠（高44＝警察官・府天満警察署）、野口有里紗（高64＝銀行員・りそな銀行）。



コロナ下、豊高2021～22

■体育祭

心配されたとおり、コロナ下で例年通りの開催できず、体育祭本来のプログラムを分解、分散しての運営が行なわれた。

6月には大会最終の呼び物「団別パフォーマンス」が披露された。「団」は学年別ではなく、3学年をタテ割り4色のチームに分けて競う仕組み。ダンスはじめ学年を超えて競う内容に魅せられた。

10月の「校内大会」は午前中は体育祭の対抗リレー、午後には例年のクラス対抗球技大会を行なった。

■入場制限でも盛況。「豊陵祭」(文化祭)

9月4～5日の「豊陵祭」(文化祭)は今回も「生徒1名に保護者1名の入場」「一般公開なし」という条件つき開催になったが、例年に負けない充実の内容で終了した。



■長崎へ歳末の修学旅行

コロナ禍で2度も延期された修学旅行が歳末の12月22～24日の旅程で「長崎の旅」として実施された。当初の予定が再度延期になっていた。

参加生徒の荷物は往復ともトラック便で搬送。身軽に旅を楽しんだ。新大阪～博多は新幹線、博多～長崎はバス利用。

旅行内容もハウステンボスでの「トレジャーロワイヤル」(宝探し)、唐津体育館でのレクリエーションで盛り上がったほか、軍艦島見学、長崎市内研修、門司港散策など多彩。再延期の気分を晴らして帰阪した。

■「修学旅行写真展」の入選決まる

豊陵会資料室が実施している「修学旅行写真展」の2021年度入選作品が写真家・高17田中伸忠さんによる審査の結果、次の通り決まった。全応募作品は図書室前の掲示コーナーに展示されている。

▼豊陵会会長賞＝渡邊友菜 ▼入選（10名。クラス順）＝増田晴輝、山本喜文、山口竜弥、藤田実優、清水継太、浦小桜、肝付早穂子、上田菜々香、佐藤撫奈、松本実佑香。（敬称略）

■77期生 360人が合格

今年の高校入試合格発表はまだウイルス感染防止の影響が続いているため、昨年同様厳重な感染防止対策を実施して3月17日（木）午前10時から行なわれた。今年も3カ所の入口から受験番号別に分散しての発表となった。今回の応募者は579人だった。競争倍率は1.61倍だった。

ントは自分で決めていくけれど最後の10パーセントを誰かに背中を押してもらいたい時など、淋しく思います。

◆母校関西学院で、兼任教授をされるなど多忙な日々を過ごしておられる黒田さんですが、今年の4月に大阪弁護士会の副会長に就任されました。

副会長は会長の補佐をして会の運営、具体的には、弁護士の加盟手続きや加盟している弁護士の懲罰を決めるといった仕事の他に、広報委員会や子どもの権利委員会などの委員会活動を中心となってまとめる仕事をします。また、弁護士会事務所の職員の上司としての役割も果たします。

●自分を生かす道を探そう

私の高校時代は、何よりも「バスケットボール部だった」という部分が大きいですね。その練習のきつさは半端ではなく、ともすれば、自分自身に負けてしまいそうになったりもしました。毎日毎日しんどいしんどいと言いつつ、自分の弱さを突き付けられながらも、そんな中で一日一日を一生懸命過ごし、今日も無事終わったねと達成感をあじわうこともできました。高校時代は自分を客観的に見直せた時代だったようです。

豊高に通っているような人な

ら優れたところが必ずあります。自分を見つめ、自分のいいところを早く見つけて、そこを社会で生かせるよう、つまり長所を生かすにはどのような道を進むべきかを考えてみてください。

●法曹界を目指すみなさんへ

弁護士など法曹界の仕事は「法による支配」を支える柱となる仕事で、大変やりがいがあります。その資格を活かして更にステップアップすることもできます。また、資格というものの強みで、育児、出産その他で一時的に仕事を休んでも子育てが一段落したら、また復帰することができます。現在も仕事をしている私の母が、まさにそのお手本だと思います。ですから、豊高の皆さん、特に女性の皆さん是非目指してください。

インタビューを終えて

かつて男性社会と言われた法曹界でキャリアを積んでこられた黒田さんに「女性であるということでご苦労は？」とお聞きしたところ、過去を振り返るのではなく「もっとアクティブになろう」と答えてくださいました。こういう前向きなところが、彼女のパワーの源であり、魅力の原点なのだと思います。

(豊陵会事務局・高32 菅 祐子)



■「サンダリーノのうた」発表会 高8新宮 晋さん

2月12日、三田市総合文化センターで「サンダリーノとなかまたち」コンサートを開いた。三田市のキャラクター「サンダリーノ」はイタリア語で「小さなサンダル」。自らの作詞に「宇宙人のギターリスト」清野拓巳さんが作曲した愉快的音楽。三田少年少女合唱団と清野拓巳クインテットの演奏と朗読、新宮のトークやサンダリーノの巨大バルーン、サンダリーノのお話映像が相まってダイナミックで心温まるパフォーマンスが展開された。今年も多彩な活動で、9月23日に三田・有馬富士公園の新宮晋風のミュージアムで「第4回風の能」、10月20日からニューヨークで個展、来年2月18日から豊中市文化芸術センター「新宮晋の世界」展を予定している。

■「うさぎ島」の戦後の開発をTVで語る 高8成田研一さん いまは兎っぱいの観光の島として人気の広島県・大久野島だが、戦時中は陸軍の毒ガス製造の島で地図上には存在しない島だった。昭和35年、厚生省（現・環境省）の国立公園レンジャー（自然保護と利用者指導）に採用された成田さんは、陸軍から国に返還されたものの、廃墟同然の島に「国民休暇村」の整備の任務を受けて単身派遣された。船で島に通い、コンクリートがれきの島内整備を指揮しながら地元の市と厚生省本省の意向との調整に苦心する毎日だった。9月27日、日本TV系「ナイトスクープ」の「ファクトチェック」で当時の様子を語った。

■「私の歩んできた道＝霞が関から商社トップへ・阪和興業の再興物語＝」を出版 高13北 修爾さん（元・豊陵会会長、阪和興業特別顧問）三省堂出版・創英社から「私の履歴書」ともいべき本を出した。我が家の生立ちから始まり、通産官僚として多くの業務を経験のち、はからずも家業の阪和興業に戻り、バブル時代の財テク負債を整理して本格的な商社に再飛躍する活動の記録である。豊陵会会長時代のことなど、著者を知る懐かしい記述もあるが、それよりも、官僚として全うするはずだった人生が、屋台骨が揺らぐ会社のトップになり、あえてシロウトの視点から「公平で透明な人事」を柱に、堅実な商社に飛躍するまでの記述は経営実務の本と

しても読む価値がある。

■50年を超える絵画生活、画集の出版と個展を開く 高18山内滋夫さん 豊高卒業後、すぐに祖父の画家・里見勝蔵氏に師事し、独特の表現で業績を積んだ画集「艸木蟲魚圖」を出版。共同通信の発信で全国各紙にも紹介された。これを記念して21年10月、東京日本橋・高島屋展を皮切りに名古屋・大阪・横浜の高島屋で個展を開いた。

■日本公園緑地協会の「北村賞」を受賞 高24田中 充さん 神戸市砂防公園部長や国際花と緑の博覧会記念協会専務理事などを歴任された。神戸市で布引ハーブ園の建設や阪神淡路大震災の復興事業など多くの事業に携わり、公園緑地行政の先覚者である故・北村徳太郎氏を記念して、「公園緑地の行政または調査・研究、計画・設計・管理の理論等について、全国的な視点から著しい業績」があった人に贈呈される「第4回北村賞」を受賞。

■第112回日本学士院賞を受賞 高26村上 章さん（京都大理事・副学長）3月14日に第112回（令和4年）日本学士院賞授賞者の一人に選ばれた。アポロ計画で飛行体の軌道制御に用いられたカルマンフィルタに数値モデル（有限要素法）を組み込み、観測値を取り入れて数値予測の精度を格段に向上させた。農業農村工学会、地盤工学会の両会長を務めた。豊高と京大の高大連携にも力を注いでいる。

■神職の階位「浄階・一級」を拝命 高29加藤芳哉さん（服部天神宮宮司・豊友会副会長）この3月1日付で神社本庁から神職階位「浄階」・神職身分「一級」の認定を受けた。神職の資格には「階位」と「身分」（6階級）とがあり、階位は「浄階」（別表の特定神社の宮司の資格）「明階」「正階」「権正階」（一般神社の宮司になれる）「直階」の5ランクがあり、袴の色が変わるといふ。今回「浄階検定」に合格したのは全国で35名。3月24日に授与式があった。

■デビュー 20周年のリサイタル 高43大澤美穂さん 2021年10月24日宝塚ベガホール、11月13日東京・王子ホールでデビュー 20周年記念ピアノリサイタルを開いた。今年は10月10日（月・祝）14時より宝塚ベガ・ホール、10月30日（日）14時より王子ホールにてピアノリサイタルを予定している。

豊中・豊高 いま・むかし 通学路編

新しく始まったこのコーナーでは、同窓生の皆さんの投稿を中心に中学、高校生活のあれこれを、現在と対比してお伝えします。

第一回は「通学路」このテーマは高校29期の栗岡敦子さんによるFacebookへの投稿を元に構成しました。写真による今の通学路の様子や、ハガキやメールによる投稿をお楽しみください。

久しぶりに懐かしく
歩いてみました。

高29 栗岡 敦子

東豊中方面に用事があったって、久しぶりに阪急豊中駅からバスに乗りました。帰りは豊高前のバス停からバス通りを歩いて、懐かしい景色を楽しみました。

(編集者・注) ここからは、地図と写真で懐かしい風景の今をご覧ください。

正門から豊中高校を望みます。手前はテニスコート、その向こうは体育館、奥に校舎が見えています。



2

豊中駅前の「人工広場」という名前もそのままなんですね。ハトのおじさんも健在でした。



1

バスに乗って
約10分で
豊高前に到着



3

豊中高校前バス停には、今も「シスター薬局」。可愛いパン屋さん「シープシープ」もできていました。



裏門から運動場と体育館を望む。

3 豊中高校
2 豊中高校前バス停



4

校庭の南側にはコンビニエンスストアができていました。



5

われらが昌文堂書店。



6

肝試し、ハンカチ落とし、いろんな思い出が残る豊中稲荷神社。



別ルートの曲がり角にある鮮魚こぼやし。



梅花高校



豊中駅からのスクランブル交差点の角にある道標。「右 豊中々 梅花女学校道」と記されている。

ミニデータ☆現在の豊高生の通学は？

- 自転車535人 ●徒歩137人 ●電車131人
- 電車とバス88人 ●モノレール83人
- バス73人 ●モノレールと電車かバス16人

(2022年4月25日調べ)

至大阪梅田

今はバス通学かな

中20 阪上 登志郎

池田から豊中まで電車。前半分を中学生、後半分に女学生が乗車。豊中駅から学校まで、左側の歩道を徒歩通学。梅花の生徒は右側と決まっていた。稲荷神社まで坂道だったので、遅刻しそうな時は走って、女学校の方は始業時刻が遅かったの

で、走る豊中生を笑っていた。戦争が激化して、蛍池（岡町）から歩く事になりしんどい思いをした。

自転車通学ができたので、浪高（大阪大学）の中を通り、熊野田を経て学校へ。帰りは蛍池の丘で一服。丘にあった穴ぐらを探検。よい思い出！

豊高へ楽しく電車で

高11 山下 勝久

父の転勤で佐賀市から豊中市へ引越し、原田小学校に転校、その後第一中学校、豊中高校へ進みました。高校へは曽根駅からの待望の電車通学で、趣味が鉄道でしたので満足でした。

宝塚線はまだ木造車両、小型車両が多く自分のカメラがなかったので貴重なシーンが残せなかったのが心残りです。

駅からは阪急バスには乗らずに3年間歩きました。

今は千里ニュータウンに住んでいますので阪急豊中駅を利用する際はバスから母校を眺めながら乗っています。

豊高道は（トヨコウミチ）おしゃべりロード

高14 篠田 芳子

豊中駅で下車してからの豊高道が思い出せません。登下校時はおしゃべりを続けていたせいでしょう。当時、すでにオバちゃん化していた、や

かましい私に付き合ってくれた皆さんの中でも裕子さん、清美さん、かよひさんは卒業後も旅行、スキー、ドライブ等に度々誘っていただきました。各々主婦の傍ら、茶道の先生、会社役員、アマチュア演奏家として、ご活躍。

行きは自転車を漕いで 帰りはトックで歩き

高19 徳永 金三郎

私は今の中桜塚2丁目から自転車通学でした。

そのうち、同方向の同じクラスの友達と知り合いになり、帰りは前カゴにバッグを入れ自転車を押し歩きして3人でおしゃべりする事になりました。このMTNトリオの会話は、暗い豊高生活!の唯一の憩いの場になったのでは? 最も半世紀超経過した今ではしゃべった内容はOut of Memoryですが…。この4月から18年ぶりに元の実家で暮らす事となり、久しぶりに通学路を歩いてみようと思う今日この頃です。

失われた風景・私の寄り道

高29 蛭名 美佳

主にバス通学だったが、早起きができた日は、豊中駅から徒歩で通学した。豊中稲荷神社の北側の角を曲がり（今は鮮魚こぼやしの角）、住宅街を

通って豊高の裏門に至る道だった。帰りの寄り道（校則違反?）は、新開地ビルの地下のたこ焼き屋や、その向かいの喫茶店。2階のレコード屋にも寄った。一番街商店街の中華料理店の食べてもなかなか減らないチャンポンも美味しかった。今はそれらのお店も、ビルもほとんど姿を消してしまった。

大募集

今回のテーマは「制服」です。

皆様のご投稿お待ちしております。手紙、メール、SNSの投稿でも結構です。豊陵会会報編集部へお寄せください。

200文字程度でお願いします。

今年も総会は中止ですが、 東京支部からの報告



2022年の初夏をコロナ禍の収束が見えないままで迎えることになりました。

東京支部では3年連続総会懇親会の中止を決定いたしました。創設以来65年、主に首都圏にお住まいの豊中中学・豊中高校卒業生の皆様との懇親の機会が奪われておりますことは、残念でなりません。

Withコロナとしての同窓会のあり方について、今後は役員・常任委員を中心に検討を重ねる予定です。従前の総会・懇親会の形式を維持することは難しいと思われませんが、東京支部会員の皆様との絆を大切にできますよう、皆様のお知恵もお借りしながら新たな形を模索したいと思っております。

なお長きにわたり東京支部の活動にご尽力された第5代支部長の刀禰俊雄先輩（高3）におかれましては、令和3年

6月9日に逝去されました。謹んでご報告申し上げます。

今後とも首都圏での同期会のお知らせや情報交換に東京支部Facebookをぜひご活用ください。

入学・転勤・結婚などで首都圏に転入された方は東京支部事務局メール houryou.tokyo@gmail.comにもお知らせください。

母校のますますの発展と共に、皆様のご健康に留意され、お健やかな日々をお過ごしになりますようお祈りいたします。

（副支部長・高28 手塚紀子）



[FACEBOOK]

11月19日、ライブ総会を開きます 中部支部からの報告

昨年度中部支部の活動は、春秋恒例の街歩きなどライブ活動は中止、せわ人会・懇話会・総会はすべてZoom活用のオンライン開催となりました。

10月9日（土）オンライン総会に備えて、Zoomの説明を交えてオンライン懇話会を開催。寺倉副支部長（高22）による「100周年の母校訪問レポート」報告の後、植田一正せわ人（高37）による「バーチャルで巡る白き我が校」と題して、1970年代の校舎建て替え前後の様子を、豊陵会本部資料のオンライン共有とGoogleマップを活用して豊高周辺を探索しました。新旧校舎で学んだ思い出話に花が咲きました。

11月20日（土）2年ぶりの総会をオンラインで開催。来賓として豊中高校から平野校長（高32）、豊陵会から高坂会長（高16）、東京支部から手塚紀子さん（高28）をお招きし、総勢25名参加のオンライン総会となりました。平野校長には「豊中高校の現状と未来」と題して、AI時代の豊高教育の未来について語って頂きました。恒例の講演会に代えて、フルート奏者・尾崎勇太さん（高67）によるフルート演奏会を開催。YouTubeに切り替えての演奏会は、音質も良く素晴らしいフルート演奏ピアノ伴奏を堪能しました。参加者主催者共、不慣れなオンライン総会ながら、演奏会共々高評価を頂きました。



今後とも会員の皆さんにメールでイベント参加を呼びかけ、会員相互の交流促進を図りたいと考えています。メール未登録の方はぜひこの原稿末尾QRコードからアクセスし、卒業年度（高〇〇期）・氏名・メールアドレスの登録をお願いします。

また進学、就職、転勤で中部地区に来られる皆様は、ぜひ豊陵会中部支部へご連絡下さい。QRコードからの会員入会登録をお待ちしております。

今年の中部支部総会は11月19日（土）15時から名商グリルでのライブ開催を予定しています。ただしコロナの状況次第でオンライン開催の可能性もありますので、ぜひメール会員登録をお願いします。7月末には開催方法を決定しご案内します。

皆様の積極のご参加をお待ちしています。

（中部支部 せわ人一同）



会員登録サイト→

校歌の白秋・耕筈 終焉の地を訪ねて

高18 多田和雄

東京の中野区に住んで20年になります。杉並区との境界付近で、利用する駅はJR中央線阿佐ヶ谷駅です。最近阿佐ヶ谷姉妹という芸能人が人気となり知名度が上がっていますが、校歌の作詞者北原白秋がこの阿佐ヶ谷地区で死去したことはあまり知られていません。

白秋の短歌の弟子・野北和義が書いた「阿佐ヶ谷時代の北原白秋」によると、昭和15年(1940)に阿佐ヶ谷に転居して2年後の昭和17年にこの地で死去しました。57歳。糖尿病と腎臓病で昭和12年頃から視力が低下していたが虫眼鏡で読み、妻に口述筆記させて創作に励みました。晩年まで病の中で芸術院会員など膨大な業務を律儀にこなし、死の直前まで多磨短歌会会員の投稿短歌の選評に注力しました。背は低く太り気味で、酒はほとんど飲まないが病院でも吸いつづけるほどのヘビースモーカーでした。

阿佐ヶ谷駅と隣の荻窪駅周辺には昭和初期に小説家が多数住んで阿佐ヶ谷文士村を形成していました。関東大震災で焼け出された井伏鱒二が最初に住み、太宰治・与謝野寛(鉄幹)・晶子・亀井勝一郎などが集まりました。昭和10年の与謝野寛の葬儀では白秋が弔辞を読みました。

地元の阿佐ヶ谷図書館に文士村の資料

が整備されていますが、これらの資料の中には白秋の名前は見当たりません。終焉の地の「阿佐ヶ谷北5丁目1番」に白秋が居住した家は既に無く、現在はビルばかりで何の形跡も碑や立札もありません。

東京23区でもサービスピ精神豊かな区、例えば渋谷区は高野辰之居住地(文部省唱歌「故郷」「春の小川」、田山花袋終焉の地などの碑を立てています。北区では芥川龍之介居住地に説明板を設置しています。杉並区はさびしい限りです。ということで終焉の地ではあるものの阿佐ヶ谷地区に白秋の痕跡は残っておらず、人々の記憶から消えました。

白秋の墓所は府中市の都立・多磨霊園で、こちらは墓地巡りで有名です。墓地巡りをする人を「墓参り」にひっかけて「墓マイラー」と呼ぶそうです。

白秋の墓は大きくてフルネームでわかりやすい墓です(写真)。秋を表す「白秋」は俳句の季語で秋は「掃苔」(そうたい)です。



近くには西園寺公望・東郷平八郎・長谷川町子・岡本太郎などの墓もあります。霊園の管理事務所で作家・画家の墓地パンフを配布しています。な

おペンネーム・芸名には調査が必要で、三島由紀夫は平岡家(本名平岡公威きみたけ)、谷啓は渡部家(渡部泰雄)です。

校歌の作曲者山田耕筈(昭和31年文化勲章)は世田谷区成城5丁目で死去しました。Wikipediaを転記します。

耕筈は昭和40年(1965)11月初旬、聖路加国際病院に入院していたが、家族が東京都世田谷区成城5丁目に広大な洋館風の邸宅を借りる。同年12月4日、耕筈は成城のこの自宅に退院して来るが12月29日、自宅2階の南向き10畳間で心筋梗塞により死去した。享年80歳。

成城の家に25日間だけ住んだことになります。この家は昭和13年頃に富豪によって建てられ、戦後、進駐軍に接収されていたのをその後山田家が入りました。当初は広大な邸宅でしたが今では庭の大半を切り売ったのか数軒の家が建ち、現状は母屋が奥に隠れて道路から見えませぬ。

この母屋には現在、画家の横尾忠則が住んでいます。環境にやさしいのか、ゲージツ家の趣味か、手入れされず樹木は伸び放題・草ボーボーの家です。周辺の高級邸宅街とは雰囲気異なります。周囲の方々はヤブ蚊で大変でしょうね。門扉は開いています。私はコンプライアンス遵守で入りませんが、インターネッツには赤く塗られた家の写真があります。道路から少し見える母屋の柱は赤いです。耕筈が25日間だけ住んだ家なのでここに耕筈の面影を求めるのは無理でしょう。碑も説明板もありません。今は近くの世

田谷ベース(所ジョージの家)のほうに有名です。

耕筈の墓所はあきる野市の民営・西多摩霊園です。この霊園は山田耕筈を前面に打ち出しています。入口の近くに「山田耕筈記念庭園」があり、石碑「赤とんぼ」楽譜碑・歌詞碑(三木露風)があります。



記念庭園の上位に耕筈の胸像があり「からたちの花」の楽譜・歌詞を書いた燈籠があります。霊園のレストランの名前は「からたち」です。耕筈の墓と胸像が向かい合っています。

2021年秋に北原白秋終焉の地が自宅近くにあることを偶然知りました。ヒマにまかせて白秋や山田耕筈のことを調べてみて、このお二人の偉大さが判りました。50数年前に訳も分からずに校歌を歌っていたことを恥ずかしく思います。改めて、良い学校にいたんだと再認識いたしました。(文中敬称略)

【掲載スペースの関係で筆者の了解を得て原文を短縮、他の写真をカットしました。豊陵会HPに全部の写真を掲載しています】

ヒガン群生地は川西市で2011年9月に指定文化財として指定されています。

この活動地には約300本のエドヒガンが群生していますが、そのうち約半数の150本は2011年から毎年地元にある小学校2校の児童が環境体験学習時に植樹したエドヒガンの若木がその群生に含まれています。

この会場へは活動地が猪名川へ流れる谷間へと下りていくため、私たち全員が84歳になる会員の数人の方は準備された竹棒を杖代わりに使って上り下りをせざるを得ないことを体験いたしました。楽しい一時を過ごし、この地で来年も再会することを期待しながら散会いたしました。(西詰健司)



■ 来年5月、高10期の「傘寿+α同期会」

「傘寿+α同期会」を幹事団で摸索して来ましたが、次のように予定しています。

- ・令和5年(2023)5月29日(月)正午より
- ・ホテルグランピア大阪(梅田)
- ・コロナ禍の状態により開催不可となった場合には「傘寿の会」を最終同期会とします。

(代表幹事 谷口邦彦。電話080-1071-5041。
メール kutaniguchi@nifty.com)

■ 高10期「十人十色會」

13回目のグループ展

高10期生のアーティストグループの「十人十色會」は21年10月14日から19日まで宝塚市立国際・文化センターで第13回グループ展を開催。14人の出展で意気軒昂ぶりを披露した。

■ 「藤上先生を偲んで」高12期会が刊行

昨年4月に死去された数学科・藤上幸作先生(1951～91)が担当された高12期を中心に教え子有志が21年10月「藤上幸作先生追悼文集」を刊行した。発起人の麻殖生健治・齋藤悦子・阿賀敏雄さんのほか、羽田睦美さん(題字)・石尾賢一さん(高18・編集)らが担当。追悼文集には森本敏さんら24人が卒業時の写真を載せて寄稿。先生への思い出を語る冊子となった。

■ 繰越金20万円を豊陵会に寄付

高14期同期会を中止

コロナウイルス蔓延で高14期会を2年続けて延期しましたが、2021年11月に幹事会を開き、諸事情を考慮した結果、

同期会を中止し、繰越金212,644円のうち200,000円を豊陵会に寄付することに決めましたのでご了承のほどお願いいたします。(高14期同期会幹事会)

■ 創部100周年、来年の記念行事を検討

豊剣会、剣道部卒業生の会

剣道は豊中中学創立時から授業として行なわれておりましたが、大正11(1922)年に剣道部が発足しました。その後、有段の顧問の先生方による指導のもと昭和13年の全国大会出場など数々の実績を残し、全国的に知られた強豪部に成長しました。

この剣道部卒業生による豊剣会は現在も現役部員を様ざまなかたちで支援しています。

豊剣会は本年度百周年を迎えたこの機会に記念行事をぜひ行ないたいと考えています。新型コロナ禍でまだ確定できないこともありますが、来年(令和5年)の大会・懇親会で記念式典を行ない、機関誌「豊剣会だより」を会員寄稿の小冊子として発行するなどの案が出ています。記念行事等のお知らせは、豊剣会のホームページをご覧ください。

ただ住所・連絡先不明で機関誌「豊剣会だより」(3月上旬発行)が届かない会員が増えています。この記事で「豊剣会だより」が届いていないことを知った会員は事務局のアドレス宛にご一報をお願いします。(豊剣会会長 高16大芝信雄)

- ▼豊剣会HPアドレス; <http://houkenkai.g2.xrea.com/>
- ▼事務局(高20高田裕文)アドレス kprmd475@ybb.ne.jp

■ 籠友会、「総会」のみを開催

バスケットボール部OB・OG会

コロナで親善試合は行なわず

この3月26日(土)「豊高籠友会」総会を森川ホールにて行ないました。コロナ禍のため2年間何もできずにいましたが、本年度は総会のみ開催となりました。

例年でしたら現役生との親善試合を行なっていましたが今回もできませんでした。今後は会員の方が参加しやすい形を探してまいりますので、ぜひともご意見を頂きたいです。

(高48 古澤頼秋)

- ▼連絡先=古澤頼秋 TEL 090-5159-6430

高48門脇徹也 strawhat.t.sunny@gmail.com

第12回「ぷりずむ展」を開催

高17・18・19期美術部員のぷりずむ展を開きます。皆様のお越しを会場でお待ちしています。

会期=9月27日(火)～10月2日(日) ▼会場=「画廊ぶらんしゅ」(阪急・石橋駅南出口から商店街を抜けてすぐ。072-761-2626。池田市天神1-5-16) ▼出展者=高17山縣文則/高18飯田誠、山内滋夫(豊陵会報本号の「ひと」欄)/高19久保田(福谷)雅江、長谷川(岡地)綾子、長谷川(古川)博子、花谷(仲田)ふみ(豊陵会報本号の表紙)

■ OBも参加 アメフト、創部75年同志の対戦 池田高との定期戦に勝つ



勝利後の記念集合写真（100名以上の応援団と共に）

高校アメフトでは日本一古い歴史を持つ、豊中高校と池田高校は共に創部75周年を迎える2021年12月27日に吹田市のエキスポフラッシュフィールドで恒例の定期戦が行われました。

ゲームは豊中高校のタイトエンド高山君のダイブで先制点を挙げ、その後もQBの宮田君とレシーバーの山本君のコンビが3TDパスを決め、ディフェンスもゴール前5ヤードの攻撃をシャットアウトするなど27-0で快勝しました。

またOB・OGをはじめ現役のご父兄や野球部の応援、更

に平野校長、藤縄教頭も応援に駆けつけ揃って声援を送っていただきました。そのおかげもあり、2年連続で池田高校に勝利することができました。

OB会も会員に葉書やSNSによる試合の周知に努め多数の応援を頂きました。

今年も年末に定期戦を企画する予定ですので帰省のご都合に合わせて応援をお願いします。勿論フットボール関係者以外の方も大歓迎です。

（高23柴田 尚）

■ 関東高八会 新宿住友クラブで



コロナ禍の中、2021年10月29日（金）、新宿住友クラブにて関東高八会を開催しました。

参加者は（敬称略順不同）河崎博夫、神保雅明、杉浦篤、杉田敏、高田雄彦、伊達仁彦、早川泉、本郷英毅、八色賢典、中野裕の10名。昼食をとりながら、コロナ禍の中、大阪から参加の神保雅明君からは、①豊陵会の現状報告 ②100周年の募金依頼 ③「創立100周年記念誌」の紹介&販売促進あり。

小生の方からは、豊陵会事務局より送付あった「100周年記念式典のCD」の紹介と視聴希望者への回覧方法などの説明。（視聴希望者は、全て視聴完了）。各参加者からはコロナ禍での生活状況の報告を受けました。お互いに、健康を維持して、元気に毎日を過ごし、コロナ禍に打ち勝つことを約して解散しました。

2022年度は10月28日（金）開催予定ですが、開催場所の「新宿住友クラブ」とのコロナ対策についての最終打ち合せが開催条件となります。（中野 裕）

■ 2年ぶり6月13日に「高八会」総会

例年4月の第2月曜日に千里阪急ホテルで開いていた高八会総会はコロナの影響で2年連続の中止になりました。1月の定例幹事会で「今年こそは」と開催を確認したものの、コロナの趨勢止まず、3月の緊急幹事会で議論のすえ「開催を6月13日に延期。開催案内を5月初めには発送するが、その時点で開催の可否を再検討し、もしも5月中旬になっても開催案内が届かないときは中止になったとみなしてください」という連絡をクラスごとに行ないました。

その際、案内・連絡の合理化のために、現住所の確認・各種メール連絡のアドレス登録などを再調査しました。分かったことは大方の人がパソコンメールをやめてスマホに替えている、固定電話よりも携帯電話への連絡を希望、ということでした。高齢化とは言え、2年間のうちに車いす生活で出席できない人などが増え、卒業以来、固い結束と行動力を維持してきたわが高八会も転機に立っています。6月の総会が楽しみです。（牧 雄彦）

■ 高8「清和会」溪のサクラを観る会

コロナの蔓延防止等重点措置の適用が全面解除された後の4月1日（金）に昨年に続き「清和会」のメンバー高8期14名（会員の夫人を含む）が住宅地から清流猪名川河岸へと下る溪の斜面にあるエドヒガン群生地の「溪のサクラを守る会」の活動地に集まり満開のエドヒガンの下を散策したり、準備された弁当を食べ・かつ雑談を交わしながら、約2時間楽しい時間を過ごしました（一般公開日=3月28日～4月5日）。

エドヒガンは一般に「さくら」と言われているソメイヨシノの親であり、兵庫県のレッドデータブック（絶滅危惧種）でBランクに指定されている貴重な品種です。この地のエド

【能勢分校の凄いところ】

1954（昭和29）年に発足した能勢豊能地域唯一の能勢高校は、2018年4月、再編整備され、豊中高校能勢分校として新発足しました。2010年に発足した「能勢高校を応援する会“町ぐるみ応援団”」（2018年に「能勢の高校を応援する会“町ぐるみ応援団”」に改称）の活動に、ずっと関わり取り組んで来た者として、小規模校だが、キラリ輝く、能勢分校の取り組みと成果の一端を紹介させていただきます。

「世界が教科書、教室は町ぜんぶ」、能勢分校の特色の一つが豊かな実体験を伴う『国際性』です。毎年複数名以上の海外からの留学生を受け入れ（2021年度は、マレーシア、バングラデシュ、カンボジア、ドイツからの計4名）、100名に満たない全校生徒が日常的に留学生と一緒に学んでいます。2006年マレーシアへの修学旅行を開始、2010年ユネスコスクールに認定などの取り組みにより、能勢高校は2015～2019年、文部科学省より、豊中高校と並んで、SGH（Super Global High School）指定校に選ばれました。

SGH後の2020年、続けて文部科学省より「地域協働推進校（グローバル型）」事業特例校の指定を受けました。この、自治体、大学、産業界などとの協働により地域課題解決などの探求的な学びを推進し、能勢分校の教育活動が能勢町の地域振興の核として、上森一成町長など能勢町の代表団と共に生徒4名がドイツを訪問、地域の新電力会社設立と運営にも加わる等、特色ある教育活動が新聞各社の記事やTV報道でかなり大きく紹介されています。

また、昨年度より、能勢町で下宿し能勢分校へ通学する「里山留学制度」が始まり、里山留学生と地元生が協働する「チーム SATOYAMA」の活動は、全国から「能勢モデル」として注目され、さらに「高校生を中心とした地域活性化プロジェクト」から、分校



1年生で起業し個人事業主になる生徒も現れています。（これらの活動について、Facebookでも知ることができます。）

大学進学率も増加、高校での学びと活動を生かし、関西学院大学や立命館アジア太平洋大学などに毎年進学、さらに慶應義塾大学大学院に進学する卒業生など、多くの卒業生が「卒業後能勢に帰って地域活性化に取り組みたい」と表明し、「応援する会」の活動にも彼ら若い力がたくさん加わってくれています。

こうした中、本年度の入学生はここ数年の20数名から、13名の町外出身生を含む36名に増加し、中には能勢分校での子弟の教育を求めて家族ぐるみで能勢に移住される家族も出て参りました。

豊高本校とはオンラインで結ばれ、本校教員が分校生に講義し、本校分校生徒間のディスカッションも行われ、さらに生徒間で実際に行き交う教育活動も推進することにより、相互に高い教育効果を得られるものとなっています。

「応援する会」はまさに“町ぐるみ”で、能勢分校の教育活動を支援しています。豊陵会会員の皆さん、この素晴らしい取り組みに目を向け、本校分校の教育がさらに充実したものとなるよう、ご理解ご支援をお願いいたします。（能勢町在住 高21加堂裕規）

話の花かご



■ 市の「歴史展」に山田耕笹の校歌レコードを出展

3月5日から13日まで「原田しろあと館」で開かれた「憧れのモダン都市とよなか」展に市の依頼を受けて昭和11年に山田耕笹氏が自ら歌った旧豊中中学校校歌のレコードを出展。時間を決めてレコードを再生し、来館者に聴かせた。この展示会には高13小出君子さんが画家・小出橋重に関連する書籍を出展した。羽室家家屋は戦国時代の原田城跡の地形を残したまま建てられた大正時代を象徴するモダン家屋。最後の持主から市が買い取って歴史資料館にしている。

■ 「創立百周年の住吉高校には次の駅でお降りください」

実際に乗ってみました。天王寺駅前発・阪堺電車のチンチン電車の住吉大社方面行き。4つ目の駅「北畠」が近づくと不動産会社CMのあとに「創立百周年の住吉高校には次でお降りください」と車内放送される。

通勤の往復で毎日これを聞かされる高坂・豊陵会会長（百周年事業実行委員長）の心中は穏やかではない。実行委員会会議で「うちも阪急さんをお願いできたらなあ」と何度もつぶやいた。

阪堺電車本社によると車内放送の開始は2021年6月から。今年6月が契約更新の時期になる。広告代理店を通じての依頼

なので、金額など契約の詳細は分からないが、規定では、路線・放送する駅ごとに金額区分があり、一般的に30万円は必要とのこと。

■ 「どなたか、私を引き取っていただけませんか」

2018年の台風で倒れた校門脇のヒマラヤ杉の幹の一部が校舎正面玄関右手・豊陵会事務局の前に置かれている。当時、幹を乾燥させて記念に残る彫刻を施しては？との事だったが、幹は想定以上に内部を腐らせており、大きな彫刻はムリと判って来た。

小さな作品なら使える。今のうちにどなたか、このでかい幹を引き取っていただけませんか。豊陵会事務局にご照会ください。

■ 豊陵会の新幹事・評議員（令和3年4月以降の任命）

幹事	高74期同期会世話役	
平野 裕一（高32期）	増田 悠佑	黒田 晃平
評議員	大藤 勇亮	松川駿一郎
片桐 真二（高13期）	高田 一弥	横見 亮太
高岡 浩子（高13期）	小島 卓也	葛山 春咲
猪谷 幸代（高13期）	合田 駿希	光永悠一郎
日高 健介（高73期）	福島菜々夏	阿部田凌平
	西田 夏希	西村 咲穂
	谷口 英樹	西部 恭平
	岡本理彩子	堤 愛芽

■知らなかったこと、 懐かしいこと 隔世の感

高4 安中一雄

小生、終戦後の翌年、戦後最初で最後の中学生になりました。百周年記念誌を読んで一素晴らしい冊誌です。知らなかったことを知り、また懐かしく楽しく、更に隔世の感あります。

感想の概略ですが戦前・戦中の足跡を偲び、そして自分達の戦後間もない激動期を振り返り、当時学校制度の変更で中学一年から高校一年までの四年間つづけて最下級生だったこと【62p】も思い出の一つです。

その後の努力の積み重ねを思い、今後の益々の発展をお祈りします。

■100年の真摯な章立て 校歌記事のカットを描いた思い出

高10 稲垣千代子

風と光を感じる美しい装丁、A4判300頁に及ぶ渾身の内容。100年に及ぶ真摯な変革を物語る章立てに感銘を受けました。

私の在校中、昭和30年9月に新制豊中高校の「校歌」がようやく決まり、豊陵新聞がこの事を報ずる記事の楽譜と歌詞を囲む銀杏柄のカットを描かせて頂いたのは懐かしい思い出です【84p】。今回その後の豊陵新聞が迎える足跡も初めて知りました。

編集後記にもある良き伝統と発展の積み重ねを支援したいと思います。

■変りつつある姿を見守る 新ヒマラヤ杉に感謝して

高20 山崎一夫

在学中、属した新聞部はすでに歴史を閉じ、先輩たちがこの記念誌に裏方で足跡を残したのみとなった。歴史とはそういうもの。

であれば私の在学中の「新たな方向の模索」(1966～1972)時代【120～145p】を自己流にふりかえるより、今後の少子化時代に豊高よ、長く発展してくれよ、との願いを込め「21世紀の豊高」[現況]を熟読すべきなのだろう。

学科の進化、文化祭から豊陵祭へ、SSH指定など、変りつつある姿を新ヒマラヤ杉が見守ってくれることを感謝してやまない。

■吉川さんのイラストが豊中市「薬物防止キャンペーン」のクリアファイルに

豊中市保健所が「お店でも買える薬でも、遊びやストレス解消での使用は薬物乱用!」として「薬物使用禁止キャンペーン」のPRに配布したクリアファイルに高76吉川千尋さんのイラスト(写真)が採用された。



■新宮さんが著作を寄贈

11月12日、曾根・文化芸術センターで行なわれた人権講演会の講師として登壇した高8新宮晋さんが、同日出席の平野校長に自著「SHINGU (作品集)」絵本「いちご」などを寄贈、図書館入り口の右手に展示紹介されている。

■卒業生、豊陵会会員総数38,724名に (2022年3月末時点)

・卒業生数 37,736名。旧職員 876名。現職員 112名。

・連絡可能会員 21,744名。

■本号の発行部数 23,500部

・会員への郵送 22,300部 ・学校配付 1,200部

——— 皆さまの原稿をお待ちしています ———

- ・同期会・クラブ会のニュース
- ・各種受章・表彰など同期仲間活躍のニュース
- ▼300字程度。あなたの卒業期・お名前を記入ください。(匿名・筆名は掲載しません)
- ▼メール・はがき・FAXいずれもOK。
- ▼宛先 豊陵会「豊陵会報」係
 - ・メールアドレス office@houryou.org
 - ・〒560-0011 豊中市上野西2-5-12 豊中高校内

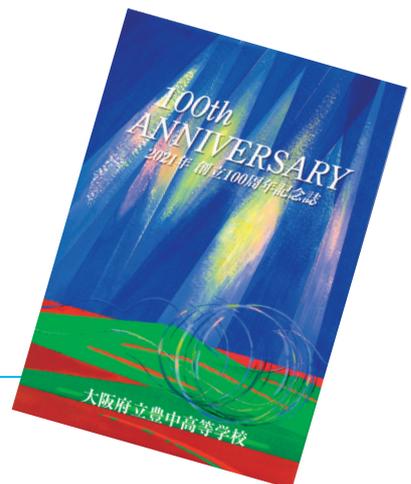
「創立100周年記念誌」 ぜひ、お求めください。

- 好評! 424項目の「出来ごと」記事
- 「拾い読み」ができる100年誌
あなたが在学中のページを開いてみてください

A4判・本文343ページ/歴史を刻むコラムとデータ
▼1冊・送料とも5,500円

下記へ振り込んでくだされば事務局から郵送いたします。

- ・お名前・卒業期・郵送先を必ず記入ください。
- ・郵便振替口座 00960-5-324521 豊陵会



豊陵会 2021年決算及び2022年予算

2021年豊陵会一般会計決算

収支計算書 (自2021年1月1日 至2021年12月31日) (単位:千円)

収入の部	決算	予算	支出の部	決算	予算
前期繰越収支差額	4,001	4,001	豊陵会報発行費	3,769	4,000
			総会開催費	0	1,300
豊陵会協力金	4,146	4,900	学校行事支援金	295	530
一般会費収入	3,195	3,150	卒業記念品贈呈費	298	330
寄付金	320	300	豊陵会報部会	23	200
会報広告収入	0	400	豊陵資料室	67	110
総会出席会費収入	0	700	IT推進部会	0	100
総会時販売等収入	0	100	東京支部補助金	150	150
利息収入	0	1	中部支部補助金	100	100
雑収入	22	5	事務局費	2,461	2,500
			諸会議費	166	800
			事務機器使用料	151	500
			事務用品備品購入代	149	500
			事務局光熱費	112	120
			電信電話料	99	140
			通信費	73	400
			交通費	0	50
			慶弔費	0	40
			振込手数料	189	300
			雑費	0	10
			100周年記念準備費	64	1,000
			次期繰越収支差額	3,513	377
合計	11,685	13,557	合計	11,685	13,557

豊陵会総会を中止したため
「総会出席会費収入」「総会時販売等収入」
「総会開催費」は「0」となりました

貸借対照表 (2021年12月31日現在) (単位:千円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
現金	76	負債の部	0
郵便振替	1,189	小計	0
普通預金	5,133	正味財産の部	
定期預金	12,035	運営準備金	3,000
仮払金	100	積立金	12,021
		次期繰越収支差額	3,513
		(うち、当期収支差額)	(-487)
		小計	18,534
合計	18,534	合計	18,534

「仮払金」は部会への2022年活動費の仮払いです

2021年豊陵会記念事業特別会計決算

収支計算書 (自2021年1月1日 至2021年12月31日) (単位:千円) 貸借対照表 (2021年12月31日現在) (単位:千円)

収入の部		支出の部		資産の部		負債及び正味財産の部	
寄付金収入	0	記念事業費	12,678	現金	0	負債の部	0
受取利息	0			普通預金	4,360	小計	0
						正味財産の部	
						前期繰越収支差額	17,038
						当期収支差額	△12,678
						小計	4,360
合計	0	収支差額	△12,678	合計	4,360	合計	4,360

「記念事業費」1,267万円は100周年記念事業への寄付です

2022年豊陵会一般会計予算

収支予算書 (自2022年1月1日 至2022年12月31日) (単位:千円)

収入の部	予算	前年予算	支出の部	予算	前年予算
前期繰越収支差額	3,513	4,001	豊陵会報発行費	4,000	4,000
			総会開催費	1,300	1,300
豊陵会協力金	4,500	4,900	学校行事支援金	200	530
一般会費収入	3,150	3,150	卒業記念品贈呈費	330	330
寄付金	300	300	豊陵会報部会	200	200
会報広告収入	400	400	豊陵資料室部会	110	110
総会出席会費収入	300	700	IT推進部会	100	100
総会時販売等収入	100	100	東京支部補助金	150	150
利息収入	1	1	中部支部補助金	100	100
雑収入	5	5	事務局費	2,500	2,500
			諸会議費	800	800
			事務機器使用料	500	500
			事務用品備品購入代	500	500
			事務局光熱費	120	120
			電信電話料	140	140
			通信費	400	400
			交通費	50	50
			慶弔費	40	40
			振込手数料	300	300
			雑費	10	10
			100周年記念準備費	0	1,000
			予備費	419	377
合計	12,269	13,557	合計	12,269	13,557

豊陵資料室から 応援委員募集のお願い

- ・創立80周年に開設された豊陵資料室は「展示室で生徒への展示説明」「修学旅行写真展の開催」「諸資料の整理・保管」などを続けており、運営を手伝ってくださる方を募っています。
- ・活動は業務が集中する時期を決めて母校6号館・資料室を中心に行ないます。経験など不問。お手伝い可能な方はぜひご連絡ください。

【連絡先】豊陵会事務局

06-6849-4973 (fax兼用)

メールoffice@houryou.org

資料室部長・高20高田裕文

会員の本 【前号発行以後に著者・関係者から寄贈された新刊書を掲載】

- 「オックスフォード=世界最強のリーダーシップ教室」
(高32中谷安男。22・2月・中央経済社・2,800円+税)
- 「イラスト解剖生理学」
(高41開道真信。21・10月・講談社・税込4,180円)
- 「脳・科学的合格作戦」
(高41開道真信。21・11月・エール出版社・税込1,650円)
- 「私の歩んできた道=霞が関から商社のトップへ・阪和興業の再興物語=」
(高13北修爾。22・2月・三省堂出版社・税込1,980円)
- 「小島紀子の『思い出つづれ』」
(高9故・小島紀子。21・4月・新風書房。)
- 「神道文化論考集成(乾)」 「神道文化論考集成(坤)」
(高5加藤隆久。22・2月・神道文化論考集成刊行会・各5,000円+税)
- 「山内滋夫画集=艸木蟲魚圖=」
(高18山内滋夫。21・9月・求龍堂・5,800円+税)
- 「巴」
(小説。高22林(速水)麻佐男。21・8月・東京図書出版・1,500円+税)
- 「少女漫画家vsドイツ人」
(夏目ひらら。21・8月・実業之日本社・1,000円+税)
- 「アーサーマンデヴィルの不合理な冒険」
(高34宮田珠己。21・11月・大福書林・税込2,750円)
- 「江戸時代『御獅子狩』があった!」
(高11岩見(金岡)悦子。19・10月・弘報印刷出版センター・税込1,300円)
- 「世界のチバニアン」(やさしい地質学。高11岩見(金岡)悦子。21・7月・弘報印刷出版センター・税込700円)
- 「苦情対応と信頼」
(高17池田康平。21・5月・諷詠社・税込1,430円)
- 「瘀血を取って若返る!」
(高18石井(金山)正光。22・2月・さくら社・1,500円+税)
- 「共感革命=フィランソロピーは進化する=」
(日本フィランソロピー協会(理事長・高21高橋陽子)。22・3月・税込1,540円)
- 「生きる」
(1960年代の立山登山写真集・高2故・穴戸元、佳奈子。21・7月・おもひで工房。高3栃尾菊治さんから寄託)

◆表紙のこぼれ 「省胎七宝鉢・ダリア」焼きあげた七宝焼本体(胎)の銅部分を薬品で溶かし去り、ガラス質の釉薬層のみを残した透き通る七宝焼の鉢です。本作は釉薬も手作りし制作に数年を要しました。今年の「ぱりずむ展」(16ページ)に出品予定。会場で多くの先輩・後輩方にお会い出来れば幸いです。ちなみに私が豊高に通っていた頃の校章は七宝焼だと思われま。現在はバッジに替りエンブレム(ワッペンみたいなもの)でしょうか?実物を見てみたいものです。(高19花谷(仲田)ふみ)

2022年 豊中中学・豊中高校

豊陵会総会のご案内



日時 2022年 9月18日(日) 11:00~14:00 (受付10:30)

会場 ホテル アイボリー 3階オーキッドホール
(阪急豊中駅前・☎06-6849-1111)

会費 7,000円 (一般)

「ホームカミングアゲイン」	卒業50年優待	(高校22~24期生)	会費 3,500円
「ホームカミング25」	卒業25年優待	(高校47~49期生)	会費 3,500円
新入会員招待		(高校72~74期生)	会費 無 料

私たち音楽部は1年生10名、2年生7名の部員でヴァイオリン・ヴィオラ・チェロを使い、弦楽四重奏を中心に練習しています。校内では、毎年文化祭や豊音祭で演奏しています。そのほか大阪府合同弦楽などにも積極的に参加し、他校との交流も盛んです。部員全員が弦楽器を始めた初心者なので、拙い演奏ではありますが、楽しんでお聴きください。

総会に出席ご希望の方は豊陵会事務局に **8月31日(水)** までにご連絡をお願いいたします。座席のご用意がありますので、出席の方は必ずご連絡ください。



- ・電子メールの場合は、 office@houryou.org
- ・左のQRコードから出席の連絡をしていただくことができます。
- ・FAXの場合は、同封の用紙を使って 06-6849-4973 へ
- ・電話の場合は、06-6849-4973 (但し月・水・金曜日の午前10時から午後3時までです。)

「豊陵会総会」の寄贈品提供のお願い

ご出席される会員にとって会場でのバザーは大きな楽しみです。つきましては、会員皆様には是非とも一品でも多く寄贈品提供にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

寄贈品は総会当日朝まで受付させていただきますが、準備の都合上できるだけ **8月31日(水)** までに事務局必着でお願いいたします。

●東京支部総会は中止となりました。

●中部支部総会は
11月19日(土) 15:00 ~
名商グリル(名古屋商工会議所ビル)

●会員数(2022年3月末日現在)
卒業生数 37,736人/旧職員 876人
現職員 112人/連絡可能者数 21,744人
●会報発行部数
発行部数 23,500部/会員発送数 22,300部/学校配布 1,200部

編集発行 豊陵会編集部(大阪府立豊中高等学校・豊陵会事務局内)
発行 令和4年6月25日 発行人 高坂 敬三
事務局 〒560-0011 豊中市上野西2丁目5番12号(大阪府立豊中高等学校校内豊陵会)
☎(06) 6849-4973(FAX兼用) ホームページ <http://www.houryou.org>
メールアドレス office@houryou.org または kaihou@houryou.org
デザイン 風屋合同会社 印刷 株式会社広済堂ネクスト